

2021年12月3日
株式会社三菱UFJ銀行

NISSHA 株式会社で「サステナビリティ・リンク・ローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち}半沢 淳一）は、NISSHA 株式会社（代表取締役社長 兼 最高経営責任者 ^{すずき じゅんや}鈴木 順也（以下、当社））との間で、ローン・マーケット・アソシエーション^[1]等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即した、「サステナビリティ・リンク・ローン」によるローン契約（以下、本契約）を、本日締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローン原則では、借り手のサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット（以下、SPT）を設定し、金利などの貸付条件と SPT に対する借り手のパフォーマンスを連動させ、SPT 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指します。

本契約では、「当社グループのCO₂総排出量（スコープ1・2）を2030年までに2020年対比で30%削減するマイルストーンとして、2025年までに2020年対比15%削減」をSPTとして設定し、SPT達成状況に応じて、優遇金利が適用されるインセンティブが付与されています。

当社グループはサステナビリティに向けた重要な取り組みの一つとして脱炭素社会への貢献を掲げており、本契約のSPTは当社グループが2030年のあるべき姿を示した『サステナビリティビジョン（長期ビジョン）』を実現する上で重要な役割を担っております。CO₂排出量の削減目標は当社にとって意欲的な目標設定であり、脱炭素社会実現への貢献、持続可能性の改善に結びつくものとして、意義深い取り組みと考えます。

本ローンの概要

契約締結日	2021年12月3日
金額	20億円
資金使途	運転資金

本契約では、株式会社格付投資情報センターより、サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠、設定したSPTの合理性について第三者意見を取得しています。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまのESGの取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

[1] 欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会。英国に本拠地を置き、欧州・中東を中心に60ヶ国以上約630機関が加盟。